

特別助成

パチンコ・パチスロ依存問題の予防と解決に取り組む研究機関への、研究成果周知に対する支援

「依存問題について理解を広めるフォーラム in 山形」事業

誰もが陥る可能性のある様々な依存を正しく知るためのフォーラムを実施する

誰もが陥る可能性がある様々な「依存」についての正しい知識と理解を深めることを目的に、山形県内で行われている依存への対策や取り組みについて理解を深めるフォーラムを開催した。医学的な視点や公的機関による支援策、当事者の苦しみなどを具体的に紹介し、依存症を「知る」機会の創出につながったうえ、新聞メディアでの周知・啓発も行った。



フォーラムの開催を告知するチラシ



「依存問題について理解を広めるフォーラムin山形」の基調講演

依存問題への対策や依存症そのものへの正しい知識と理解を深める活動を実施

「依存問題について理解を広めるフォーラムin山形 実行委員会」は、ギャンブルなどによる依存問題への対策や依存症そのものへの正しい知識と理解を深め、依存によって引き起こされる健康被害や社会問題などについて適切な治療や支援につなげる普及啓発事業を行うことを目的に結成した団体で、山形県遊技業協同組合の協力の下、山形県精神保健福祉センター、株式会社山形新聞社で構成されている。

「依存」は、ギャンブルや薬物、アルコールといった様々な悩みを抱える特定の人たちの問題に思われがちだが、昨今ではオンラインによる各種ギャンブルや課金制のスマホゲームなどその手段は多岐にわたり、かつ身近な問題にもなっている。また、誰もがなり得る可能性があり、適切な支援によって回復可能であるにも関わらず、当事者や家

族が問題の深刻さを認識しにくいといった特性や、治療や相談支援などに必要な情報を得にくいといった理由から、当事者やその家族に対する支援が必ずしも十分ではない現状にある。

そうした背景の下、山形県では2022年度にギャンブルなどの依存症に関する現状と課題を明確にすることを目的とした「山形県ギャンブル等依存症対策推進計画」を策定し、対策に取り組んでいる。しかし、現在の調査資料が推計値でしかないこと、さらに全国比で県内の依存症患者数は多くはないものの、専門医療機関数が少ないことから、潜在的に苦しんでいる人数は多いのではないかと推定されている。そこで実行委員会では、ギャンブルなどの依存症への正しい理解や予防法、相談体制などについて幅広く県民に啓発し、理解を促すために「依存問題について理解を広めるフォーラムin山形」を開催した。

医療従事者、支援者、依存症当事者が講演やパネルディスカッションを行う

フォーラムは、依存状態にある当事者やその家族、また現時点で依存状態ではないもののギャンブルなどを日常的に行い依存症の疑いがあると感じている方々、さらに実際に依存問題の相談や社会復帰支援などを行っている方々を対象に、2023年11月18日に山形市の食糧会館ビルで開催した。

「山形県ギャンブル等依存症対策推進計画」のメンバーを中心に人選を行い、当日は依存に至る背景や治療・リハビリなど県内で実際に依存症治療に携わっている小林和人さん（山容病院院長）による基調講演をはじめ、パチンコ・パチスロホールなどで啓発活動を行っている井上静夫さん（山形県遊技業協同組合理事長）、依存症の相談拠点や回復のための支援を行う有海清彦さん（山形県精神保健福祉センター所長）、依存症当事者として自助組織で活動する難波佑さん（鶴岡・田川断酒新生会会長）によるパネルディスカッションを実施した。開催に先立って、新聞メディアやポスター、チラシによる参加者の募集を行い、



依存症治療に携わる方によるパネルディスカッション

当日は84名が参加した。

実行委員会では、今回の事業を通して、医療的見地からの依存症への理解促進と、現在のオンラインギャンブルの危険性や若年化の事実、そして依存が決してマイナスだけの側面を持つものではないことなどを周知する契機になったと感じている。さらにアルコール依存症当事者や実際に治療にあたる医療従事者の経験談が依存症の実態を明確にし、当事者だけではなく、地域で支えていくことの重要性についても理解を深める機会となった。一方、実際に足を運んで行う公営ギャンブルと異なり、オンラインギャンブルは身近な存在であるがゆえに、誰もが依存症になる危険があることを、あらゆる世代に継続的に注意喚起していく必要性を感じた。

山形県遊技業協同組合より

新聞一面にパチンコ・パチスロ業界がパチンコ・パチスロ依存対策を徹底していることや、遊技機は製造からホールに設置し営業に至るまで、全て法律に基づいて行われている健全営業の遊技環境であることを広く県民に周知した効果は絶大であった。



2023年12月15日付の山形新聞に掲載された採録記事

助成団体: 依存問題について理解を広めるフォーラムin山形 実行委員会



県民に依存症への理解を促す機会をいただいたことに感謝します

山形県内でも依存症への相談件数が増加傾向にあると耳にします。そういった状況下、依存症治療を実際に行う医療従事者や依存症当事者、関係諸団体による取り組みを実際に聴講し、依存症への理解を深めることができました。当日参加できなかった方々へも、新聞の採録紙面を通じ、依存症について考える機会の創出につながりました。

依存問題について理解を広めるフォーラムin山形 実行委員会
山形新聞社東支社営業部副部長 加藤 貢介さん